

令和4年度 第3回 笠井小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月24日（金） 9時30分から11時00分まで
- 2 開催場所 笠井小学校 2階 パソコン室
- 3 出席委員 松本久和、田村滋治、山下智之、森下律子、黒澤龍司、市川規子、石野裕子、遠藤義継、菅沼とも子
- 4 欠席委員 大谷俊澄
- 5 オブザーバー 高林修（市議会議員）、高岡智之（笠井協働センター）
- 6 学校 徳田弘子（校長）、杉山貴和（教頭）、河野晃浩（教務主任）
小木大輔（いじめ対策コーディネーター）
氏原志穂（CSディレクター）
- 7 教育委員会 堀田洋一（教育総務課）
- 8 傍聴者 1人
- 9 協議事項
(1) 学校関係者評価について熟議
(2) 学校運営協議会自己評価について熟議
- 10 会議録作成者 CSディレクター 氏原志穂
- 11 会議記録

司会の杉山（教頭）から、委員総数10名のうち9名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価について熟議

松本議長の指示により教務主任から、別紙資料に基づき学校評価集計報告を基に説明があり、熟議を行った。委員からは以下のような発言があった。

- ・ 他の人のよいところは見つけられるが、自分の良いところは見つけにくい。自分は何が得意で好きかを体験する中で見つけることができる。そうすることで自信が付き輝いてくれると思う。（黒澤委員）
- ・ 夢をもつこと自体が大切である。（石野委員）
- ・ 子供が先に挨拶するのは大変。まずは、大人から挨拶することが大切である。（市川委員）
- ・ 地域が子供を育てるようにしていきたい。まずは、挨拶を広げていきたい。（松本委員）

(2) 学校運営協議会の自己評価について熟議

○学校運営の基本的方針についての熟議について

- ・ 校長から教育目標や目指す子供の姿などの具体的な内容や、今年度から導入した教科担任制の成果と今後の方針について詳しく説明があった。各委員が理解し共有することができた。

- ・ 地域と家庭が連帯して教育目標である「夢をもち ともに輝く子」の具現化に向けて協力していく必要性、と特に「自己肯定感」の持てる子に育てたいとの思いに共感した。
- ・ 各委員、活発に意見が出るようになった。今後も活発に熟議していけるようにしたい。

(松本委員)(田村委員)(黒澤委員)(市川委員)(遠藤委員)(菅沼委員)

○学校運営に資する活動について熟議について

- ・ 学校支援コーディネーターからの活動報告や、今後の活動予定を聞いた。地域のボランティアの方々や、保護者による教育活動の手助けにより教育活動の質が高まっていると感じた。また ICT を活用した授業参観を行い、実際に子供たちの様子を見ることで、熟議を深めることができた

(松本委員)(田村委員)(森下委員)(黒澤委員)(市川委員)

○今年度の取組の評価をふまえた来年度の目標について

- ・ 子供たちの教育活動をより充実させていくために、地域、家庭等が積極的に学校にかかわっていく必要がある。コミュニティ・スクール便りなどを活用して、学校教育への理解を深めていきたい。
- ・ 今年度の水害の被害により学校、地域の協働の大切さを実感した。より一層の学校防災への熟議が必要だと感じた。
- ・ クラブや総合的な学習時間などのコミュニティ・スクールの有効であった活動を次年度も生かし、充実させていきたい。
- ・ 来年度も今年度以上に熟議を交わし児童たちの成長を見守りたい。

(松本委員)(田村委員)(山下委員)(黒澤委員)(菅沼委員)

(3) 来年度に向けての学校運営の基本的方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき令和5年度の学校運営の基本的方針について説明があり、委員からは、承認の発言があった。

(4) いじめ防止等のための基本方針について

笠井小いじめ対策コーディネーター小木から「令和5年度の笠井小学校いじめ防止等のための基本方針」について説明があり、委員からは、承認の発言があった。

(5) 夢育やらまいか CS 加算分の報告

教頭から「夢育やらまいか CS 加算分の報告」について説明があり、委員からは、承認の発言があった。